

ぜっ校長!

第50号…最後の通信となります!

2020(令和2)年3月16日(月)~19日(木)

稲羽中学校 校長 江口 雅明

☆まさかこんなことになるなんて…それでも夢をもって進級してほしい!

▼誰がこんな“結末”を想像できたでしょうか?・・・2月27日、安倍首相の一言で、日本中の学校が、教職員が、児童生徒が、見通しのもてない暗闇に入り込んでしまいました。「断腸の思いである」とか「判断に時間をかける暇がなかった」と言う一国の首相の責任の重さは、一人の校長が抱える責任の重さなんかとは比較にならないことくらい十分にわかっています。しかし、物事には段階(ステップ)というものがあるはず。そんなステップも踏まずに、国(政府)の要請に岐阜県も従い、翌日には各務原市教育委員会から3月2日から臨時休校とする判断をいただきました。まさに、校長として“断腸の思い”で6時間目終了後に全校放送を校長自ら行いました。「今日が、令和元年度の最後の授業日となりました・・・」と、放送室のマイクに向かって、私は愛して止まない生徒たちに語りかけました。3月26日に予定していた修了式も離任式も行うことができず、これが校長として最後の話となってしまいました。心にぽっかりと大きな穴が開いて、涙も出ませんでした。【ここまでは、3年生に向けて発行した『ぜっ校長』第49号と同じ内容です】

▼さて、3月6日(金)、予定通り卒業証書授与式を挙行了しました。来賓なし(=祝辞なし)、在校生なし(=送辞なし)、国歌は歌わず伴奏を聞くだけ、校歌は卒業生退場の際のBGMとして流すだけ、そして校長の式辞もカットしました。「生徒が主役」なので、卒業証書を一人一人に授与、卒業生代表の言葉、卒業記念合唱だけは行いました。93名の先輩たちは堂々と胸を張って稲羽中を巣立っていきました。見事な“後ろ姿”を見せてくれました。

▼1、2年生の皆さんにとっては、各教科の最後の授業が2月28日に終わってしまい、学級解散式どころか修了式も離任式も行えず、臨時休校のまま令和元年度が終わってしまいました。もしかすると、異動される先生方とはもう会うこともできないかもしれません。唯一の救いは、今日から始まる個別懇談の計画がすでに立ててあり、学級担任が生徒と保護者に会える機会をもつことができることです。このまま学年末・学年始めの休業日(春休み)に入ってしまうようですが、4月7日に本当に新学期を迎えられるのか? 修学旅行(新幹線で? 東京へ?)や自然の家宿泊研修は果たしてできるのでしょうか? まったく先が見えません。けれど、道は続いています。夢を持ち続け、前を向いて歩くのです!

☆What Cool Students! 稲中生、頑張っています!

【部活動や個人の表彰など】 ※敬称略

◎陸上競技部 山田 優(2-1) 2/23 「第7回岐南町マラソン大会」

↳【中学生 女子の部】**第3位!**



【ボランティア 50 回達成者】 ※敬称略 ②=2冊目 ③=3冊目 ④=4冊目 ⑤=5冊目 ⑥=6冊目 ⑦=7冊目

◎市野 華蓮(1-2)③ ◎松波 夕愛(1-2)④ ◎伊藤杏南実(1-2) →**ついに 10 冊目!**

◎足立恭太郎(3-2) ◎岩井 元希(3-3) ◎村上 里紗(3-2) ◎尾山 美朱(3-2)

◎善家 幸輝(1-1)③ ◎五島 沙弥(3-1) ◎長江 紗良(1-1) →**なんと8冊目!**

◎園田 響(3-3)、荻谷 明里(3-3)、中村 蒼葉(3-3) →この3名は**わおっ 12冊目!**

◎奥村 萌果(1-1) →**前人未到の 14 冊目!**

全校436冊!(実質172名!)→達成率58.7% みんなよく頑張りました!

